

Go for ASPAC 委員会 事業計画

Go for ASPAC 委員会 委員長 佐藤 浩司

1 2024 年に一般社団法人新潟青年会議所が ASPAC 新潟大会誘致に成功し、JC の 4 つの機
2 会の 1 つである国際の大きな機会とインバウンドを含めた経済波及効果を上げる好機が近
3 づいています。約 10,000 人が集うこの国際会議にはアジア太平洋地域の各地から同じ志
4 を持った仲間が訪れますが、新潟県内の ASPAC 新潟大会に対する熱の高まりが広がってお
5 らず、新潟県全体を巻き込んで開催への機運を醸成する必要があります。

6 当委員会は、新潟県が今まで以上に国際的に認知され、観光やビジネスの拡大につなげ
7 るために、一般社団法人新潟青年会議所と協働し、2026 年の ASPAC 新潟大会を成功に導く
8 土壌づくりを進めていきます。まずは、新潟県内のメンバーに ASPAC 新潟大会開催の恩恵
9 を理解してもらうために、ASPAC の意義や効果についての周知を行い、新潟県で開催する
10 ことについての当事者意識をもってもらい、共に成功を収める意欲を向上させます。そし
11 て、新潟県内の行政や関係機関が国際的な視野と情熱をもって歓迎の気持ちを表すことが
12 できるようになるために、新潟県内のインバウンド受け入れ態勢を調査し、事業者に対し
13 て啓発や幅広い連携を行い、新潟県全体で ASPAC 新潟大会に対して多くの賛同を集め、協
14 力者を増やすことに寄与します。さらに、アジア太平洋地域からの来訪メンバー及び関係
15 者に対し、周遊観光や地域名産品の購入への意欲を高めるために、ASPAC ウランバートル
16 大会にて新潟県の魅力を発信し、新潟県全体への経済効果を波及させ、各国メンバーの
17 ASPAC 新潟大会の参加意欲と知名度向上の機会を創出します。

18 以上の活動を通じて、ASPAC 新潟大会の開催を前に、新潟県内のメンバーが主体的とな
19 り、新潟県民が官民一体となって受け入れ態勢を整え、来訪する人達が生きた新潟県に
20 なることで、ASPAC 新潟大会に関わる全ての人と共に夢溢れる未来を創造します。

【事業計画】

1. 新潟県内のメンバー及び関係機関に対する ASPAC の周知・啓発・連携強化
2. ASPAC2025 ウランバートル大会にて新潟県内の魅力発信事業の実施

(意見・対応)

第4回 役員予定者会議 2024年12月 4日(水)

【事前指摘】

意見1: パラ全体 文字数は規定に則ってください。第1は200字、第2は480字、第3は120字です。

対応1: 文字数を規定に則りました。

意見2: 2パラ 書き出しは「当委員会は〇〇のために、▲▲し、■●にします。」としてください。

対応2: ご指摘の通り修正し「来訪メンバー及び関係者のために、運動を展開し ASPAC 新潟大会に対して希望を持ち、明るい機運にします。」としました。

意見3: 2パラ 上記に続く書き方として「まずは、そして、さらに、また」のようにしてください。

対応3: ご指摘の通り「まずは、そして、さらに」としました

意見4: 3パラ 書き出しは「以上の活動を通じて」としてください。

対応4: ご指摘の通り「以上の活動を通じて」と修正しました

意見5: 1パラ 「国際の大きな機会」という言い回しは適切でないように感じます。国際〇〇の大きな機会のようにすると読みやすくなると思いますのでご一考ください。

対応5: JC4つの機会(個人・地域・国際・ビジネス)について説明したかったのでその旨を追記しました。

意見6: 1パラ 「国内のみならず～訪れるため」意味は分かりますが、読みにくいと感じてしまいます。

対応6: 「国内だけでなくアジア太平洋地域の各地から多くの同じ志を持った仲間が～」と修正させていただきました

意見7: 1パラ 「オール新潟」 ALL にしない理由は何でしょうか。

対応7: カタカナの方が読みやすい印象があると思いました。ALL に修正しました。

意見8: 2パラ 8行目に「メンバーが当事者意識を持ち」と記載がありますが、どのようにしたら当事者意識を持つ事ができると考えますか。

対応8: 2パラ ASPAC についての理解を深めてもらうことは必要ですが、志を同じくする仲間が明るく情熱をもって頑張っている姿から伝播させることができると考えます。

意見 9: 10 行目に「観光や飲食を含む関係機関との連携」とありますが、その他の産業等とは連携はしない予定でしょうか。ものづくり産業等県内にはいくつも魅力があると思います。

対応 9: 当初、文字数を気にして「等」でまとめていましたが、ご指摘のとおりものづくり産業も大切なので記載させていただきました。

意見 10: 2 パラ 新潟県の数多くある魅力を伝えることについて、ウランバートルではどのような事をするのか現状考えている内容はありますか。

対応 10: 手法については考えていませんが、過去の ASPAC で新潟 JC さんが行ってきたことや他の地域が見てきたことを伺い、参考にしようと考えています。

意見 11: 3 パラ 「素敵」 ASPAC 新潟大会。良い表現です。

対応 11: 個人的には「素敵」というワードは老若男女問わず、ものやできごとに対しても使えるほめ言葉と考えています。

意見 12: 1 パラ この表現は適切か。ルールだと青年会議所を指す場合 JC とするとなっている。新潟 JC でよいのでは

対応 12: ご指摘の通り「新潟 JC」に修正しました。

意見 13: 1 パラ 現状として各地 LOM メンバーは ASPAC とは何か、開催することで得られる効果は何か等に対する理解度はどうでしょうか。恥ずかしながら私も ASPAC に参加したことがなく詳しく知らない現状があります。他のメンバーもおそらく詳しくない方が多数かと思います。その現状を背景に記載したほうが周知、協力体制構築という手法に結び付くかと思います。

対応 13: 現状としては入会年度の浅いメンバーも多く、理解は進んでいない現状があると思います。国際のイメージを出して少しでも前向きに取り組めるように工夫をしたいと思います。

意見 14: 1 パラ 「,」は必要ないでしょうか。会頭所信は「数」を記載する際「,」を用いています。

対応 14: ご指摘の通り「,」を追記しました。

意見 15: 2 パラ 「国際会議が」普通の会議ではないことを強調したほうが良いと思います。文字数制限によってはこのままでもよいと思います。また「の」ではなく「が」が良いと思います。

対応 15: ご指摘の通り 2 パラ 1 行目の「会議の」を「大会が」に修正しました。

意見 16: 2 パラ ブロック協議会として単独ブースを設けるのか、新潟 JC さんと共同で設けるのか。

対応 16: ブロック協議会で単独ブースを考えています。

意見 17: 1 パラ 1 行目から 2 行目 「新潟大会誘致に成功を果たし、国際の大きな機会が近づいてきています。」の部分が少し読みにくさを感じました。例えば、「新潟大会の誘致に成功し、大きな国際的イベントが間近に迫っています。」とか、ご一考ください。

対応 17: 「JC の 4 つの機会」の中での国際の機会という意味を指しています。担当副会に確認したところ ASPAC はイベントではないので会議という表記のままにさせていただきます。

意見 18: 2 パラ 7 行目 関係者とはだれを指していますか。

対応 18: 来訪メンバーの家族や、メンバーでないスタッフを指しています。

意見 19: 2 パラ 9 行目から 12 行目 メンバーもそうですが、関わってほしい方々にどんな大会で、どんな人が訪れ、どのような効果があるかを具体的に広報や宣伝することで、当事者意識が高まると思います。

対応 19: 参加の意味は「個人の成長」、効果については「世界を見て、体験することで学びにつながること」だと考えます。

意見 20: 2 パラ 13 行目 「知見が手薄な」の部分が少し読みづらさを感じます。

対応 20: 「あまり知られていない」ということを、ネガティブワードを使わずに表現した結果です。なお、観光統計・白書によれば 2023 年 1 月～12 月のインバウンド都道府県ランキングで新潟県は 24 位となっております。

意見 21: パラ全体 新潟 JC と協力して事業を進めていくと思いますが、周知や啓発、ランバートル大会での魅力発信を行うにあたり、周知する地域や声をかける関係機関、どこかのどんな魅力を発信するのか、新潟 JC との区分け（役割分担）はどのように考えていますか。

対応 21: ブロック協議会としては別に行っていく予定です。内容については個別の事業計画で検討します。

意見 22: パラ全体 個人的な感想ですが、せっかく佐渡 JC の佐藤さんが委員長になり、佐渡島の金山もユネスコ世界文化遺産に登録されたので、佐渡にふりきった事業計画でも面白いと思います。

対応 22: 新潟県全体の発展の観点で見ってみました。ご指摘いただいた点につきましては個別の事業計画で検討したいと思います。

(意見・対応)

第4回 役員予定者会議 2024年12月 4日(水)

【事前指摘】

意見1: 2パラ 1文が172文字です。統一ルールでは2パラに関して160文字以内となっています。

対応1: 修正を行いました。

意見2: 1パラ 出だし1文が62文字です。統一ルールでは1パラに関しては1文80文字以上となっています。

対応2: 文字数の修正を行いました。

意見3: 1パラ 来訪が約8,000人とありますが新潟市のHPでは約10,000人とあります。未来の算出で難しいと思いますが、気になりました。

対応3: ご指摘の通り、10,000人に修正しました。

意見4: パラ全体 新潟県内と県内の2種の表現があるのでどちらか統一が良いと思います。

対応4: 新潟県内に統一しました。

意見5: 事業計画の数字について1と2を半角数字にお願いいたします。

対応5: 半角に修正しました。

意見6: タブ名を修正してください。

対応6: タブ名の修正を行いました。

意見7: 3パラ 「つなげることができるよう共に夢溢れる未来を創造します」この文章は、共に夢溢れるに対して、前文へつながりが悪いので精査ください。

対応7: 前文へのつながりを修正しました。

意見8: 2パラ 「県内のメンバーや県内のステークホルダー、来訪メンバー及び関係者のために」これは要約して青年会議所に関わる全ての人で良いのではないですか。文字数を減らして他に書く内容を増やした方が良いと思います。

対応8: JCに関わる全ての人、に修正しました。

意見9: 2パラ 「ASPAC 新潟大会に対して希望を持たせ、明るい機運にします」誰に対して希望をもたせ、明るい機運にするのか主語を記載したほうが良いです。

対応9: ASPAC 新潟大会に関わる全ての人、と主語を記載しました。

意見 10: パラ全体 統一文言の再度チェックをお願いします。持つはもつ 持ってはもって など

対応 10: 持つ、持ってをもつ、もってに修正しました。

意見 11: 2 パラ 事業ごとの目的の記載がないので、やることを書く前に目的の記載をしてください。統一文言では、「〇〇ために、▲▲行い、■ ■ます。」となっています。

対応 11: 統一文言ルールに則り修正しました。

意見 12: 1 パラ 「新潟 JC」は JCI 新潟か一般社団法人新潟青年会議所と記載してください。

対応 12: 一般社団法人新潟青年会議所と記載しました。

意見 13: 1 パラ 「JC4」は JC の 4 と記載してください。

対応 13: JC の 4 つと「の」を追記しました。

意見 14: 1 パラ 読点の打つべき箇所を精査ください。

対応 14: 精査しました。

意見 15: 1 パラ 「この大会を成功に導きインバウンドを含めた経済効果を新潟県内全体に広げるべく」この表現は統一文言の禁止事項です。「ために」とはこととなりますが、意味としては同じで、目的とみなされるので再考が必要です。

対応 15: 表現の見直しを行いました。

【当日指摘】

意見 1: 2 パラ 書き出しは「当委員会は～のために、～し、～にします。」としてください。背景、手法。目的がわかるように精査ください。

対応 1: 文章を精査しました。

意見 2: 3 パラ 「素敵な～」の文言は主観的と捉えられるため、再考をお願いします。

対応 2: 「素敵な～」を削除し、文章を再考しました。

意見 3: 3 パラ 10 行目 11 行目 「など」が重複しているため、再考をお願いします。

対応 3: 「など」を削除し文章を再考しました。

意見 4: パラ全体 目的を見据えた文章構成を精査願います。

内容を変えず、構成を精査し要約するようにお願いします。

対応 4: 構成を精査し要約しました。

意見 5: 1 パラ 201 文字になっています。200 文字でお願いします。

対応 5: 200 文字に修正しました。

意見・対応)

第1回 臨時役員予定者会議 2024年12月 8日(日)

【事前指摘】

意見1: パラ全体 表現やトーンの一貫性が欠けるところが散見されます。「希望を持たせ」といったポジティブな表現と「手薄な」という表現が混在しており、異なる印象を与える可能性があります。一貫したトーンを維持するよう、全体を再度見直してみتهはいかがでしょう。

対応1: ご意見を基に、全体を見直し修正しました。

意見2: 1パラ 文章に「機会」と言う単語が連続しているので表現の精査をお願いします。

対応2: ご意見を受け、2つ目の「機会」を「好機」に修正しました。

意見3: パラ全体 JC 関係者には分かりやすく伝わりますが、ASPAC を知らない一般市民や新入会員には少し難解に感じられる箇所が残っています。具体的な例や簡潔な説明を追加し、皆が容易に理解できるよう配慮して記載してみتهはいかがでしょう。

対応3: ご意見を基に、文章全体を修正しました。

意見4: 1パラ 「JCの4つの機会」の説明は追記されたとのことですが、「国際」という言葉の意味が依然として曖昧です。「個人・地域・国際・ビジネスの4つの機会」と具体的に記載することでさらに明確化できると思います。再考をお願いします。

対応4: 再考した結果、具体例を示すことにより他に必要な表現を組み込めないという観点から、「4つの機会」に対する具体的表記を見送りました。

意見5: 1パラ 「ALL新潟」について、「新潟全体を巻き込む」という具体的な活動の明記をした方が分かりやすいと感じます。

対応5: ご意見を基に、「新潟県全体を巻き込む」に修正しました。

意見6: 3パラ 青年経済人として、「新潟県が国際的な評価を受け、観光やビジネスの拡大につながる」といった具体的な未来像を示す記載を入れてみてはいかがでしょう。

対応6: ご意見を基に、修正しました。

意見7: パラ全体 「訪日観光客の新潟県滞在数を〇〇%増加」「ASPAC後の新潟県内宿泊施設の稼働率向上」など具体的に数値として持っていて、市民やJC関係者以外に何かエビデンスがある数値と目標は持っていていただきたい。

対応7: ご意見ありがとうございます。事業計画書を作成する際に意識してまいります。

意見 8: 題名 題名は century、その他は MS 明朝です。体裁の統一を宜しくお願いいたします。

対応 8: ご意見を受け、文体を修正しました。

意見 9: 1 パラ 「ASPAC 新潟大会誘致に成功を果たし」の「成功を果たす」という表現は日本語に無いのではないかと思います。「大会の誘致に成功し」「大会誘致に成功し」等、精査願います。

対応 9: ご意見を受け、「大会の誘致に成功し」に修正しました。

意見 10: 1 パラ 「機運を醸成する」は機運を作り出すという意味なので、現在は機運が無いと言うことになりますが、その認識で合っていますでしょうか。

対応 10: 機運の醸成は無いという状態から必ずしも始まっているのではなく、機運が低い状態から高めていくという認識です。

意見 11: 2 パラ 「2026 年の新潟大会の成功に導く」は「2026 年の新潟大会を成功に導く」の方が良いと思います。

対応 11: ご意見を受け、修正しました。

意見 12: 2 パラ 「多くの賛同を高める」こちらも日本語に無い表現と思うのですが、「新潟県全体で ASPAC 新潟大会に対して多くの賛同を高める」とは具体的にどのような状態でしょうか。

対応 12: ご意見を受け、「賛同を集める」に修正しました。具体的には事業前よりも事業後の方が「いいね!」とっていただける人が少しでも増えた状態です。

意見 13: 2 パラ 役員会議でも意見があったように「知見が手薄」という表現は読みづらく感じます。意見と対応からその意図は理解しました。「あまり知られていない」を 2 パラで表現する必要があるのでしょうか。書く必要があれば、それは 1 パラに書くべき背景にあたると思います。

対応 13: ご意見を基に、指摘いただいた部分を削除し修正しました。

意見 14: 2 パラ 8 段目 「認知度が高くない」も同様です。

対応 14: ご指摘を基に、修正しました。

意見 15: 3 パラ 2026 年の大会が開催された際のことが記載されていますが、それは 2025 年度末時点において検証可能でしょうか。2025 年度末時点の状態を書かれた方が、検証しやすいと思います。

対応 15: ご意見を基に、2025 年時点を意識した表記に修正しました。

意見 16: 2 パラ 新潟大会→ASPAC 新潟大会等の方が読みやすいかと思います。

対応 16: ご意見を基に、修正しました。

意見 17:2 パラ 「もたせ」→もってもらいなどの表現法が良いかと思います。

対応 17: ご意見を基に、修正しました。

意見 18:2 パラ 「大会に関わるムード」→もっと高い表現の方がよいかと思います。「共に成功を収める」等、再考をお願いします。

対応 18: ご意見を基に、「共に成功を収める意識の向上」に修正しました。

意見 19:3 パラ 主語がないかと思います。ASPAC 新潟大会が開催等、再考をお願いします。

対応 19: ご意見を基に、修正しました。

意見 20:1 パラ 「ASPAC 新潟大会に対する熱の高まりが広がっておらず、」→どこに広がっていないのでしょうか。JC メンバーもしくは JC メンバーを含む県内の関係者でしょうか。以後の文章を読むと、JC メンバー、関係する人たちと読み取れるので「新潟県内に ASPAC 新潟大会に対する～」等の方が良いかと思います。

対応 20: ご意見を基に、修正しました。熱の高まりの広がりとは JC においては委員長の肌感覚として JC 的としてもブロック全体的にも広がりを見せているとはいづらい状況です。県内でも新潟市が HP で発信していただいているものの周知が進んでいるとは言えないと感じています。

【当日指摘】

意見 1: 手法について現状のイメージはあるのか。

対応 1: 今後、委員会内で話し合うが、現時点でのイメージは参加意欲のあるメンバーを軸に巻き込み、個につなげていくことのできる運動に展開していきたいと考えます。

意見 2: 2025 年度 ASPAC 大会参加推進についての各 LOM でのノルマを考えているのか。

各 LOM から専務経由で意向調査を行ったところ、現状 3 名の参加となっている。

対応 2: 過去の ASPAC 大会の参加推進運動を参考にし、人数の設定を行っていききたいと考えます。

(意見・対応)

第 4 回 理事会長専務理事予定者会議 2024 年 12 月 14 日 (土)

【事前指摘】

意見 1: 無

対応 1: 無